

登録コード	E2430900	開講年度	2026				
授業科目	指揮法基礎					担当教員	井田 勝大
英文授業名	Conducting foundation					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・5時限	対象学生	3年生
講義室	教育N404		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				学校音楽教育における音楽科の特性を捉え、教員としての使命感を持つようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				指揮実習を通じて音楽理論の専門的見地から学校教育に生きる指導法の理論、知識、実践的方法について習得する。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	基本的な拍子図形を理解し、音楽の性質に応じた使い分けが出来るようにする。 正確なアインザッツやテンポの確保、ダイナミクスの指示等を指揮で体現して、オーケストラ等合奏の円滑な進行が行えるようになる。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス、指揮の概念について、基本動作 第2回：指揮に必要な音楽理論実習【遠隔等】 第3回：指揮に必要な音楽理論実習【遠隔等】 第4回：2拍子、3拍子の平均運動、しゃくい、叩きの実習 第5回：4拍子の平均運動、しゃくい、叩きの実習 第6回：ブルグミュラー『25の練習曲』を用いた楽曲分析 第7回：ブルグミュラー『25の練習曲』を用いた楽曲分析と指揮演習 第8回：1拍3分割(3/4及び6/8)の実習 第9回：テンポ・ルバートへの対応実習 第10回：ブルグミュラー『25の練習曲』を用いた楽曲分析と指揮演習 第11回：ブルグミュラー『25の練習曲』を用いた楽曲分析と指揮演習 第12回：モーツアルト『セレナーデ No.13 K.525 ト長調』の楽曲分析【遠隔等】 第13回：モーツアルト『セレナーデ No.13 K.525 ト長調』の指揮演習 第14回：モーツアルト『セレナーデ No.13 K.525 ト長調』の指揮演習 第15回：指揮法基礎まとめ、授業アンケート回答 教育実習で欠席した場合は受講生と相談の上、課題を提示する。						
(6)成績評価の方法	授業への事前準備の度合いと参加意欲評価(20%) 指揮演習の理解度、習熟度の評価(30%) 中間試験及び期末試験における習熟度の評価(50%) 上記事項を総合的に評価して判定する。						
(7)成績評価の基準	学習した内容に応じた適切な指揮運動ができていれば「水準にある」 楽曲の音楽ニュアンスが表出していれば「やや上にある」 奏者を促す力が表出していれば「かなり上にある」 指揮図形、打点、アインザッツ等諸々の要素が音楽に相応しい状態で、奏者からみて演奏しやすい指揮になっていれば「卓越している」 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	音楽の内容を十分に理解するために事前の譜読みが必須である。前もって配布された楽譜を十分に読み込むと同時に、可能ならばピアノで和声等を確認してから授業に臨むのが好ましい。正しい指揮運動を身につけるために反復、復習練習を欠かさないこと。						
(9)履修上の注意	楽譜は授業の進捗に合わせて配布する。 指揮棒はそれぞれに合ったものを各自用意すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	ida_katsuhiko@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	資料・楽譜は必要に応じて配布する。						
【参考文献】	適宜、紹介する。						